

# 第 3 9 回原子力船「むつ」安全監視委員会

日 時：平成 2 8 年 8 月 2 3 日(火)

1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0

場 所：ウェディングプラザアラスカ  
4 階 ダイヤモンド

## 次 第

### 1 . 開会

### 2 . 挨拶

### 3 . 議事

(1)平成 2 7 年度の放射能監視結果について

(2)その他

### 4 . 閉会

## 配付資料

資料 1 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視結果(青森県・むつ市実施分 平成 2 7 年 4 月～平成 2 8 年 3 月)

資料 2 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視結果(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター実施分 平成 2 7 年 4 月～平成 2 8 年 3 月)

資料 3 青森研究開発センター関根浜附帯陸上施設等の現状と今後の予定

資料 4 燃料廃棄物取扱棟固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中の 3 0 0 L ドラム缶からの漏えいについて

参考資料 1 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視計画(青森県・むつ市実施分)

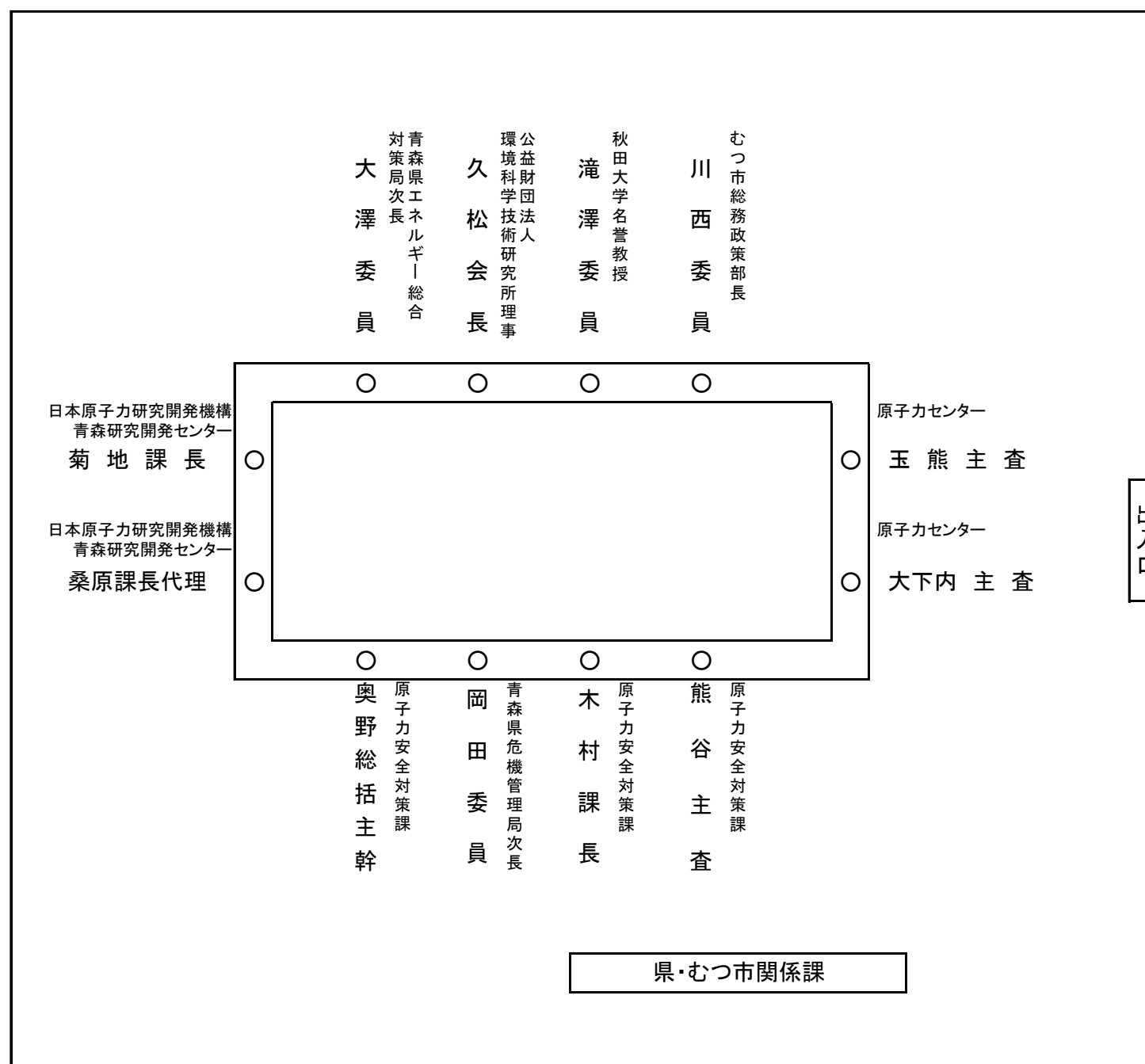
参考資料 2 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視計画(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター実施分)

参考資料 3 原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

# 第39回原子力船「むつ」安全監視委員会 席図

平成28年8月23日(火)

アラスカ 4階 ダイヤモンド



第 3 9 回原子力船「むつ」安全監視委員会 出席者名簿

1. 原子力船「むつ」安全監視委員会委員

| 委 員 名   | 役 職                      | 備 考 |
|---------|--------------------------|-----|
| 久 松 俊 一 | 公益財団法人環境科学技術研究所 理事       | 会長  |
| 滝 澤 行 雄 | 秋田大学名誉教授・国立水俣病総合研究センター顧問 |     |
| 岡 田 稔   | 青森県危機管理局 次長              |     |
| 大 澤 隆 夫 | 青森県エネルギー総合対策局 次長         |     |
| 川 西 伸 二 | むつ市総務政策部長                |     |

2. 事業者

| 氏 名     | 職 名                                          |
|---------|----------------------------------------------|
| 菊 地 正 光 | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構<br>青森研究開発センター 保安管理課 課長   |
| 桑 原 潤   | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構<br>青森研究開発センター 施設工務課 課長代理 |

3. 事務局

| 氏 名     | 職 名                  |
|---------|----------------------|
| 木 村 秀 樹 | 青森県危機管理局 原子力安全対策課 課長 |
| 奥 野 直 子 | 〃 総括主幹               |
| 熊 谷 邦 彦 | 〃 主査                 |
| 玉 熊 義 久 | 青森県原子力センター 安全監視課 主査  |
| 大 下 内 伸 | 〃 主査                 |

## 原子力船「むつ」安全監視委員会の設置及び運営に関する要綱

### (目的及び設置)

第1条 青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会（以下「青森県等」という。）は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保のため、放射能の監視等を適切かつ円滑に実施することを目的として、原子力船「むつ」安全監視委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 青森県等の環境放射能の測定計画、測定の実施方法、測定結果の評価等について審議すること。
- (2) 必要に応じ、青森県等が行う放射能の監視作業等に立ち会い、又は自ら放射能の監視等を行うこと。
- (3) そのほか国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保に関する必要な事項について審議すること。

### (組織)

第3条 委員会は、委員8人で組織する。

### (会長)

第4条 委員会に会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、予めその指名する委員が、その職務を代理する。

### (委員)

第5条 委員には、次に掲げる者をもつて充てる。

青森県が推せんする学識経験者 2人

むつ市が推せんする学識経験者 1人

青森県漁業協同組合連合会が推せんする学識経験者 1人

青森県の職員 2人

むつ市の職員 1人

青森県漁業協同組合連合会の職員 1人

2 委員の任期は、委員会の存続期間とする。

3 委員は、当該委員の推せん者及び会長の承認を得て、委員を辞することができる。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、青森県危機管理局において統括し、及び処理する。

### (雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

## 原子力船「むつ」安全監視委員会委員名簿

(平成28年8月23日現在)

| 委 員                    | 役 職 名                         | 備 考                    |
|------------------------|-------------------------------|------------------------|
| ひさ まつ しゅんいち<br>久 松 俊 一 | 公益財団法人環境科学技術研究所 理事            | 会長<br>青森県推薦<br>学識経験者   |
| たき ざわ ゆき お<br>滝 澤 行 雄  | 秋田大学名誉教授・<br>国立水俣病総合研究センター 顧問 | むつ市推薦<br>学識経験者         |
| おか だ みのる<br>岡 田 稔      | 青森県 危機管理局 次長                  | 青森県職員                  |
| おお さわ たか お<br>大 澤 隆 夫  | 青森県 エネルギー総合対策局 次長             | 青森県職員                  |
| かわ にし しん じ<br>川 西 伸 二  | むつ市 総務政策部長                    | むつ市職員                  |
| まつ や まこと<br>松 谷 誠      | 青森県漁業協同組合連合会 指導部 部長           | 青森県漁業協<br>同組合連合会<br>職員 |

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターに係る放射能監視結果

(平成27年4月～平成28年3月)

(青森県・むつ市実施分)

平成28年8月

青森県・むつ市

## 目 次

|                      |   |
|----------------------|---|
| 1. 固体廃棄物（立入調査） ..... | 1 |
| 2. 空間放射線 .....       | 2 |
| 3. 環境試料の核種分析 .....   | 2 |

## 1. 固体廃棄物（立入調査）

青森県及びむつ市は、放射能監視計画に基づき、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターへの立入調査を実施し、固体廃棄物が適正に管理・保管されていることを確認した。

調査により確認した固体廃棄物の保管状況は、表1のとおりである。

表1 固体廃棄物の保管状況

| 保管場所             | 区 分                   | 定 期 立 入 調 査 |           |
|------------------|-----------------------|-------------|-----------|
|                  |                       | 平成27年8月24日  | 平成28年2月1日 |
| 燃料・廃棄物<br>取 扱 棟  | 200ℓ 鋼製ドラム缶           | 499本        | 501本      |
|                  | 200ℓ SUSドラム缶          | 3本          | 3本        |
|                  | 300ℓ SUSドラム缶          | 3本          | 3本        |
|                  | 1 m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 29個         | 29個       |
|                  | 3 m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 3個          | 3個        |
|                  | 使用済樹脂収納容器             | 2個          | 2個        |
|                  | その他（大型機器）             | 4個          | 4個        |
| 撤 去 物 等<br>保 管 棟 | 200ℓ 鋼製ドラム缶           | 148本        | 148本      |
|                  | 1 m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 41個         | 41個       |
| 原 子 炉 室<br>保 管 棟 | 原子炉室一括撤去物             | 1体          | 1体        |



## 2. 空間放射線

放射能監視計画に基づき、浜関根他3地点において蛍光ガラス線量計（RPLD）による積算線量測定を実施した（表2参照）。

測定値はすべて過去の測定値の範囲内であり、これまでと同じ水準であった。空間放射線の測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表2 RPLDによる積算線量測定結果

（単位： $\mu\text{Gy}/91\text{日}$ ）

| 地 点 | 平成27年度 |       |       |       | 過去の測定値の<br>範囲※ |
|-----|--------|-------|-------|-------|----------------|
|     | 第1四半期  | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |                |
| 浜関根 | 96     | 102   | 98    | 95    | 86～102         |
| 美 付 | 90     | 96    | 92    | 86    | 80～98          |
| 関 根 | 94     | 99    | 96    | 89    | 79～99          |
| 水川目 | 88     | 96    | 88    | 83    | 76～97          |

※：平成22～26年度の測定値。ただし、美付については平成22年5月から8月にかけて、測定地点近傍でリサイクル燃料貯蔵(株)によるモニタリングポスト建設工事が行われ周辺環境が変化したため、平成22年度第3四半期～平成26年度の測定値を用いている。

また、関根については、平成26年度開始時に測定場所を移動したが、移動後の地点では、リサイクル燃料備蓄センターを対象とした環境放射線モニタリングを平成21年度から実施しているため、この測定結果を用いて過去の測定値の範囲を設定している。

## 3. 環境試料の核種分析

放射能監視計画において、放射性液体廃棄物の放出の都度、同放出水等の核種分析を行うこととしているが、平成27年度は海中放出がなかったことから、核種分析は実施していない。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターに  
係る放射能監視結果  
(平成27年4月～平成28年3月)

平成28年8月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センター

## 目 次

|      |                                                |   |
|------|------------------------------------------------|---|
| 1    | 固体廃棄物の保管状況 .....                               | 1 |
| 2    | 放射線管理の状況 .....                                 | 1 |
| 3    | 空間放射線 .....                                    | 2 |
| 4    | 環境試料 .....                                     | 3 |
| 別紙 1 | 青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出された気体廃棄物の放射能濃度と<br>検出限界濃度 |   |

## 1 固体廃棄物の保管状況

固体廃棄物の保管状況について、表 1 に示す。平成27年度は平成26年度と比較し、燃料・廃棄物取扱棟の200ℓ 鋼製ドラム缶が2本増加している。内容物は、定常の点検作業で発生した綿手袋等の雑固体廃棄物が主なものである。

表 1 固体廃棄物の保管状況

| 保 管 場 所          | 区 分                  | 平 成 2 7 年<br>3 月 3 1 日 | 平 成 2 8 年<br>3 月 3 1 日 | 備 考                        |
|------------------|----------------------|------------------------|------------------------|----------------------------|
| 燃料・廃棄物<br>取 扱 棟  | 200ℓ 鋼製ドラム缶          | 499 本                  | 501 本                  |                            |
|                  | 200ℓ S U S ドラム缶      | 3 本                    | 3 本                    |                            |
|                  | 300ℓ S U S ドラム缶      | 3 本                    | 3 本                    |                            |
|                  | 1m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 29 個                   | 29 個                   | 29個の内、4個<br>は使用済排気フイ<br>ルタ |
|                  | 3m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 3 個                    | 3 個                    | 3個は使用済排気<br>フィルタ           |
|                  | 使用済樹脂収納容器            | 2 個                    | 2 個                    |                            |
|                  | その他（大型機器）            | 4 個                    | 4 個                    |                            |
| 撤 去 物 等<br>保 管 棟 | 200ℓ 鋼製ドラム缶          | 148 本                  | 148 本                  |                            |
|                  | 1m <sup>3</sup> 鋼製容器 | 41 個                   | 41 個                   |                            |
| 原子炉室保管棟          | 原子炉室一括撤去物            | 1 体                    | 1 体                    |                            |

## 2 放射線管理の状況

放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の放出状況について表 2 に示す。気体廃棄物のトリチウムは、廃液貯留タンク内に残留している原子炉1次冷却水中のトリチウムに起因するものであり、排気中のトリチウム濃度は、別紙 1 に示すとおり、周辺監視区域外における空気中の濃度限度を十分下回っていた。なお、その他については、表 2 に示すとおり、いずれも検出限界濃度未満であった。

平成27年度の放射性液体廃棄物の放出は、実施されなかった。

表 2 放射性廃棄物の放出状況

(単位：Bq)

| 測定項目 |            | 平成 27 年 度         |                   |                   |                   |
|------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|      |            | 第1四半期             | 第2四半期             | 第3四半期             | 第4四半期             |
| 気体   | トリチウム      | $2.9 \times 10^5$ | $4.3 \times 10^5$ | $1.5 \times 10^6$ | $1.4 \times 10^6$ |
|      | その他        | *                 | *                 | *                 | *                 |
| 液体   | トリチウム      | —                 | —                 | —                 | —                 |
|      | トリチウムを除く核種 | —                 | —                 | —                 | —                 |

注) 1. \*：当該期間中、検出限界濃度未満であったことを示す。

2. —：当該期間中の放出実績がなかったことを示す。

3. 放射性気体廃棄物についての詳細は、別紙 1 参照。

### 3 空間放射線

放射能監視計画に基づき、気象観測所他1地点において蛍光ガラス線量計（RPLD）による積算線量測定を実施した（表3参照）。

第2四半期・浜関根における測定値は、積算線量計の収納箱の支柱が折れ、収納箱が地面に落下していた期間があったことから、欠測とした。その他の測定値は、すべて過去の測定値の範囲内であり、これまでと同様の水準であった。空間放射線の測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表 3 蛍光ガラス線量計(RPLD)による積算線量測定結果

(単位：μGy/91日)

| 測定地点      | 平成 27 年 度 |       |       |       | 過去の測定値<br>の範囲※1 |
|-----------|-----------|-------|-------|-------|-----------------|
|           | 第1四半期     | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |                 |
| 気 象 観 測 所 | 104       | 107   | 106   | 95    | 80～107          |
| 浜 関 根     | 114       | 欠測※2  | 115   | 99    | 82～116          |

※1：平成22～26年度の測定値である。

※2：積算線量計の収納箱の支柱が折れ、収納箱が地面に落下していた期間があったことから、欠測とした。

## 4 環境試料

放射能監視計画に基づき、海水他2項目について環境試料の放射能測定を実施した（表4参照）。

$^{60}\text{Co}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ の放射能については、過去の測定値の範囲内であり、これまでと同様の水準であった。

環境試料の放射能測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表4 放射能測定結果

| 調査項目  | 採取地点  | 採取年月日     | 単位      | 核種                | 測定結果                 | 過去の測定値の範囲<br>(平成1～26年度)   |
|-------|-------|-----------|---------|-------------------|----------------------|---------------------------|
| 海 水   | 排水口付近 | 27. 5. 12 | Bq/ℓ    | $^{60}\text{Co}$  | ND                   | ND                        |
|       |       |           |         | $^{137}\text{Cs}$ | $1.2 \times 10^{-3}$ | ND ～ $4.4 \times 10^{-3}$ |
| 海 底 土 | 排水口付近 | 27. 5. 12 | Bq/g 乾土 | $^{60}\text{Co}$  | ND                   | ND                        |
|       |       |           |         | $^{137}\text{Cs}$ | ND                   | ND ～ $5.9 \times 10^{-4}$ |
| コ ン ブ | 関根漁港沖 | 27. 8. 4  | Bq/g 生  | $^{60}\text{Co}$  | ND                   | ND                        |
|       |       |           |         | $^{137}\text{Cs}$ | ND                   | ND ～ $1.6 \times 10^{-4}$ |

注) ND： 検出限界濃度未満を示す。

今年度の検出限界濃度は、

海 水(Bq/ℓ) :  $^{60}\text{Co}$  :  $1.5 \times 10^{-3}$ 、 $^{137}\text{Cs}$  :  $1.2 \times 10^{-3}$

海底土(Bq/g乾土) :  $^{60}\text{Co}$  :  $8.6 \times 10^{-4}$ 、 $^{137}\text{Cs}$  :  $6.9 \times 10^{-4}$

コ ン ブ(Bq/g生) :  $^{60}\text{Co}$  :  $1.4 \times 10^{-4}$ 、 $^{137}\text{Cs}$  :  $9.5 \times 10^{-5}$

青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出された気体廃棄物の放射能濃度と  
検出限界濃度

青森研究開発センターの附帯陸上施設(燃料・廃棄物取扱棟及び機材・排水管理棟)から放出されたトリチウムの放射能濃度と検出限界濃度について、別表1に示す。

別表1 青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出されたトリチウムの放射能濃度と  
検出限界濃度

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

|     | 燃料・廃棄物取扱棟              |                      | 機材・排水管理棟             |                      |
|-----|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|     | 放射能濃度※                 | 検出限界濃度               | 放射能濃度                | 検出限界濃度               |
| 4月  | $< 7.4 \times 10^{-8}$ | $7.4 \times 10^{-8}$ | $5.3 \times 10^{-7}$ | $7.1 \times 10^{-8}$ |
| 5月  | $< 9.9 \times 10^{-8}$ | $9.9 \times 10^{-8}$ | $5.7 \times 10^{-7}$ | $1.0 \times 10^{-7}$ |
| 6月  | $< 1.2 \times 10^{-7}$ | $1.2 \times 10^{-7}$ | $5.7 \times 10^{-7}$ | $1.2 \times 10^{-7}$ |
| 7月  | $< 1.9 \times 10^{-7}$ | $1.9 \times 10^{-7}$ | $8.1 \times 10^{-7}$ | $2.2 \times 10^{-7}$ |
| 8月  | $< 2.3 \times 10^{-7}$ | $2.3 \times 10^{-7}$ | $9.3 \times 10^{-7}$ | $2.3 \times 10^{-7}$ |
| 9月  | $< 1.8 \times 10^{-7}$ | $1.8 \times 10^{-7}$ | $8.7 \times 10^{-7}$ | $1.7 \times 10^{-7}$ |
| 10月 | $1.0 \times 10^{-7}$   | $8.7 \times 10^{-8}$ | $8.3 \times 10^{-7}$ | $9.2 \times 10^{-8}$ |
| 11月 | $< 7.8 \times 10^{-8}$ | $7.8 \times 10^{-8}$ | $8.3 \times 10^{-7}$ | $8.8 \times 10^{-8}$ |
| 12月 | $6.7 \times 10^{-8}$   | $5.4 \times 10^{-8}$ | $5.8 \times 10^{-7}$ | $6.2 \times 10^{-8}$ |
| 1月  | $5.6 \times 10^{-8}$   | $3.9 \times 10^{-8}$ | $4.3 \times 10^{-7}$ | $4.0 \times 10^{-8}$ |
| 2月  | $6.2 \times 10^{-8}$   | $3.7 \times 10^{-8}$ | $4.7 \times 10^{-7}$ | $4.3 \times 10^{-8}$ |
| 3月  | $5.4 \times 10^{-8}$   | $4.5 \times 10^{-8}$ | $5.0 \times 10^{-7}$ | $5.1 \times 10^{-8}$ |

・ トリチウムの周辺監視区域外の空气中濃度限度： $5 \times 10^{-3}$  Bq/cm<sup>3</sup> (性状：水)

※ <：当該月の放射能濃度が検出限界濃度未満であることを示す。

青森研究開発センターの附帯陸上施設(燃料・廃棄物取扱棟、機材・排水管理棟及び保管建屋)から放出されたその他の核種の放射能濃度と検出限界濃度について、別表2に示す。

別表2 青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出されたその他の放射能濃度と検出限界濃度

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

|     | 燃料・廃棄物取扱棟             |                      | 機材・排水管理棟              |                      | 保管建屋                  |                      |
|-----|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
|     | 放射能濃度※                | 検出限界濃度               | 放射能濃度※                | 検出限界濃度               | 放射能濃度※                | 検出限界濃度               |
| 4月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 5月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 6月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.0 \times 10^{-9}$ | $1.0 \times 10^{-9}$ |
| 7月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 8月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.6 \times 10^{-9}$ | $1.6 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 9月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 10月 | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 11月 | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 12月 | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 1月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 2月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |
| 3月  | $<1.4 \times 10^{-9}$ | $1.4 \times 10^{-9}$ | $<1.5 \times 10^{-9}$ | $1.5 \times 10^{-9}$ | $<1.2 \times 10^{-9}$ | $1.2 \times 10^{-9}$ |

・ その他の核種の周辺監視区域外の空气中濃度限度： $4 \times 10^{-6}$  Bq/cm<sup>3</sup> (<sup>60</sup>Co)

※ <：当該月の放射能濃度が検出限界濃度未満であることを示す。

○「表2 放射性廃棄物の放出状況」について

放射性気体廃棄物の放出量は、次の計算式で求めた各施設の放出量を、四半期毎に合算した値である。

各施設の放出量(Bq)＝各施設の放射能濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)×各施設の放出空気量(cm<sup>3</sup>)



平成28年8月23日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センター

## 青森研究開発センターの附帯陸上施設等の現状と今後の予定

### 1. 現状

原子力船「むつ」の解役や附帯陸上施設の廃止措置等に伴って生じた放射性廃棄物等は、撤去物等保管棟等に安全に保管管理されている。また、使用済燃料は、平成13年度に全数が日本原子力研究開発機構原子力科学研究所へ搬出され、燃料試験施設で平成18年度末までに再組立てが行われ、保管中である。

平成18年10月20日に認可された「原子力第1船原子炉の廃止措置計画」に従い、残存する原子炉施設の維持管理を行っている。

平成27年度においては、「独立行政法人日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能の監視に関する協定書」に基づく、青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会による放射性廃棄物の保管状況に関する立入調査が行われ、施設の運転管理及び放射性廃棄物の保管管理が適切に実施されていることが確認された。

また、原子力規制庁東通原子力規制事務所による原子炉施設の保安規定遵守状況の検査が2回、保安巡視が4回実施された。この際、平成27年度第2回原子炉施設の保安規定遵守状況の検査において、平成26年度の再教育対象者の教育時間を確認したところ、一部定められた教育時間に達していないことが確認され、保安規定違反（監視）と判断された（別紙1）。その後、平成28年度第1回原子炉施設の保安規定遵守状況の検査において、同じ不適切な状況が発生しないよう対応がとられていることが確認された（別紙2）。

### 2. 今後の予定

撤去物等保管棟等に保管中の放射性廃棄物及び附帯陸上施設の廃止措置等によって将来発生する放射性廃棄物等の処分については、研究施設等廃棄物の処分が可能な廃棄事業者の廃棄施設において、廃棄物の受入れが可能であることを確認してから行うこととする。

なお、原子力船「むつ」の原子炉室については、むつ科学技術館において展示物として、当分の間、保管管理を行う予定である。

以 上

## 原子力規制委員会（H28.2.3） 平成27年度第3四半期の間に

実施した保安検査に係る報告書より 抜粋

【試験研究用等原子炉設置者（廃止措置中のもの）（5／5）】

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業者名    | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2. 事業所名    | 青森研究開発センターむつ事務所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3. 検査実施期間  | 平成27年12月14日（月）、15日（火）、18日（金）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4. 検査の概要   | <p>原子力保安検査官が、保安規定に基づく保安活動の状況について、施設の立入り、記録書類などの物件の検査、関係者への質問により、保安検査を実施した。</p> <p>（１）基本検査項目</p> <p>①保守管理の実施状況</p> <p>②保安規定に基づく記録の管理状況</p> <p>③教育及び保安訓練の実施状況（抜き打ち検査項目）</p> <p>（２）追加検査項目</p> <p>なし</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 5. 検査結果の概要 | <p>今回の保安検査においては、「保守管理の実施状況」、「保安規定に基づく記録の管理状況」、「教育及び保安訓練の実施状況（抜き打ち検査項目）」を検査項目として、立入り、記録等の確認及び聴取によって検査を実施した。</p> <p>検査の結果、「教育及び保安訓練の実施状況」に関して、保安規定違反（監視）となる事象が確認された。</p> <p>検査の結果、保安規定違反が確認された「教育及び保安訓練の実施状況」以外の各検査項目について、保安規定に基づいて保安活動が実施されており、検査を行った範囲においては、保安規定違反となる事項は認められなかった。</p> <p>○保安規定違反の事項</p> <p>保安教育の実施状況を「平成26年度原子力第1船原子炉施設保安規定に係る課保安教育実施状況」「保安教育訓練記録票」等により照合確認した結果、保安教育の項目のうち「関係法令及び保安規定に関すること（1時間以上）」について、保安管理課員のうち7名が、原子炉施設以外の少量核燃料使用施設及び放射線施設等の保安活動にかかる教育を含めて放射線業務従事者に対する集合教育として1回1時間のみで完了としていた。原子炉施設の保安規定で規定される教育時間「1時間以上」を実施していない保安規定違反を確認した。</p> <p>当該事象は安全機能及び放射線被ばくに直接関連する事項ではなく品質保証上の問題で有り、かつ、受講者7名は、当該保安教育も含め、毎年の繰り返し教育を受講しており、むつは廃止措置中で核燃料物質は既に搬出され施設内に存在せず、原子力安全に及ぼす影響は小さいことから、保安規定違反（監視）と判定する。</p> <p>本件については、事業者が、不適合処置を実施し、原因を究明するとともに再発防止を図っていることを聴取したことから、今後の保安検査において改善処置の状況を確認していく。</p> |

別表 2－2：保安規定違反について

| 事業所名                                                                                         | 件数      | 保安規定違反（監視）の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国立研究<br>開発法人<br>日本原子<br>力研究開<br>発機構<br>青森研究<br>開発セン<br>ターむつ<br>事務所（試<br>験研究用<br>等原子炉<br>設置者） | 1件<br>☆ | <p><b>【件名 試験研究用等原子炉の保安教育における教育時間の不足】</b></p> <p>保安教育の実施状況及び事務所長への報告状況を確認したところ、平成26年度に保安管理課が実施した放射線業務従事者に対する保安教育において、試験研究用等原子炉施設（関根地区。以下「原子炉施設」という。）と少量核燃料使用施設（大湊地区）の放射線業務従事者を集めて集合教育として実施していることを確認した。</p> <p>教育項目「関係法令及び保安規定に関すること」について、その実施内容を確認したところ、保安規定の下位文書である「むつ事務所放射線安全取扱手引」に示された教育項目について教育時間が不足していることを確認した。</p> <p>本件は、原子炉施設の放射線業務従事者について、原子炉施設に係る項目以外の項目（少量核燃料使用施設に係る項目等）も含めて教育を実施していたことによるものであり、事業者は不適合管理を実施し再発防止を図るとしている。</p> <p>むつは廃止措置中であり、核燃料物質は既に搬出され施設内に存在せず、本件による原子力安全に及ぼす影響は小さいことから、保安規定違反（監視）と判定する。</p> |

（凡例）

☆：保安検査期間

原子力規制委員会（H28.8.3）平成28年度第1四半期の間に  
実施した保安検査に係る報告書より 抜粋

【試験研究用等原子炉設置者（廃止措置中のもの）（5／5）】

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業者名    | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2. 事業所名    | 青森研究開発センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3. 検査実施期間  | 平成28年6月20日（月）～平成28年6月23日（木）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4. 検査の概要   | <p>原子力保安検査官が、保安規定に基づく保安活動の状況について、施設の立入り、記録書類などの物件の検査、関係者への質問により、保安検査を実施した。</p> <p>（1）基本検査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保安規定の変更にかかる手順書等の改定状況に係る検査</li> <li>② 品質マネジメントレビューの実施状況に係る検査</li> <li>③ 保安教育実施状況の不備（監視）に係る改善状況に係る検査</li> </ul> <p>（2）追加検査項目<br/>なし</p>                                                                                                                       |
| 5. 検査結果の概要 | <p>今回の検査においては、「保安規定の変更にかかる手順書等の改定状況」等を基本検査項目として選定し、検査を実施した。</p> <p>前回の保安巡視から今回の保安検査実施期間中までの廃止措置施設の保安活動については、日々実施している廃止措置管理状況の聴取、記録確認、施設の巡視等により、確認を行った。</p> <p>検査の結果、各検査項目について、保安規定に基づき保安活動が実施され、今回検査を行った範囲においては、保安規定違反となる事項は認められなかった。</p> <p>なお、「保安教育実施状況の不備（監視）に係る改善状況」については、「保安教育実施マニュアル」に、センター所長への報告に係る細部の仕組みが規定されていない等、一部不十分な面があり、また、予防処置についてはまだ検討中であることから、今後の保安検査等を通じて引き続き改善状況を確認していくこととする。</p> |

平成 28 年 8 月 23 日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センター

燃料・廃棄物取扱棟固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中の  
300L ドラム缶からの漏えいについて

1. 発見日時：平成 28 年 5 月 16 日（月）午後 1 時 40 分頃
2. 発生場所：青森研究開発センター 関根施設 燃料・廃棄物取扱棟 1 階固体廃棄物貯蔵室
3. 事象概要：

燃料・廃棄物取扱棟 1 階固体廃棄物貯蔵室に保管している 300L ステンレス製ドラム缶 1 本の底部から微量な液体の漏えいを確認した（写真 1）。300L ドラム缶内には、平成 4 年にフィルタ洗浄水をセメント固化し、廃棄体として管理している 200L ドラム缶を収納していた。この収納していた 200L ドラム缶は、腐食が生じたため平成 24 年 10 月 24 日に補修し、300L ドラム缶にてオーバーパックを行い、廃棄物パッケージの管理を行っていたものである。なお、今回の漏えいに伴う表面汚染は、漏えい箇所及びその付近ともに確認されなかった。また、本事象に伴う、環境への影響及び作業に伴う被ばくは無かった。
4. 現在の状況及び今後の予定
  - ① 300L ドラム缶の状況

漏えい事象確認時においては、300L ドラム缶を酢酸ビニール及びネオプレンゴムを用いることにより漏えい対策を行った（写真 2）。その後、漏えいが確認された 300L ドラム缶から、200L ドラム缶を取り出し、オーバーパックを 1m<sup>3</sup> 容器に変更し漏えいが発生しないよう処置を行った。なお、300L ドラム缶は、200L ドラム缶を取り出し後、内面に確認された液体の採取及び拭き取りを行い、養生し保管管理している。
  - ② オーバーパックされていた 200L ドラム缶の状況

300L ドラム缶内に収納されていた 200L ドラム缶を取り出し、外観を目視にて確認した。その結果、いくつかの錆が発生していること及び錆液の垂れ（固着）が生じている箇所を確認した。しかしながら目視による観察では、貫通孔の有無を確認することはできなかった。また、液体が漏れている様子は確認できなかった。
  - ③ 漏えい原因調査の状況

漏えいの原因を究明するため、試料採取として 300L ドラム缶内の液体を採取するとともに、200L ドラム缶の蓋を開放しセメント固化体の試料を採取した。液体は、pH が約 3、塩化物イオン濃度が 75 g/L であった。また、セメント中の塩化物イオンは、約 2mg/g であった。
  - ④ 今後の予定

今後は、採取した試料（液体、セメント）の成分分析を、青森研究開発センター及び原子力科学研究所にて実施する。分析結果に基づく要因分析を進め、さらなる調査の必要性を検討するとともに、液体の漏えい事象の原因を特定し必要な対策を実施する。

以 上



写真1 300Lステンレス製ドラム缶側面底部からの漏えい発見当時の状況



写真2 固体廃棄物貯蔵室内の貯蔵状況  
(漏えいを確認し拡大防止のための養生を実施し保管)



写真3 1m³容器（オーバークラップ容器）内に200Lドラム缶を収納した状況

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターに係る放射能監視計画

(青森県・むつ市実施分)

青森県・むつ市

# 目 次

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1. 放射能監視計画 .....              | 1 |
| 2. 環境放射線等測定及び環境試料採取の地点図 ..... | 2 |



## 1. 放射能監視計画

放射能監視計画を下表に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

### ○青森県実施分

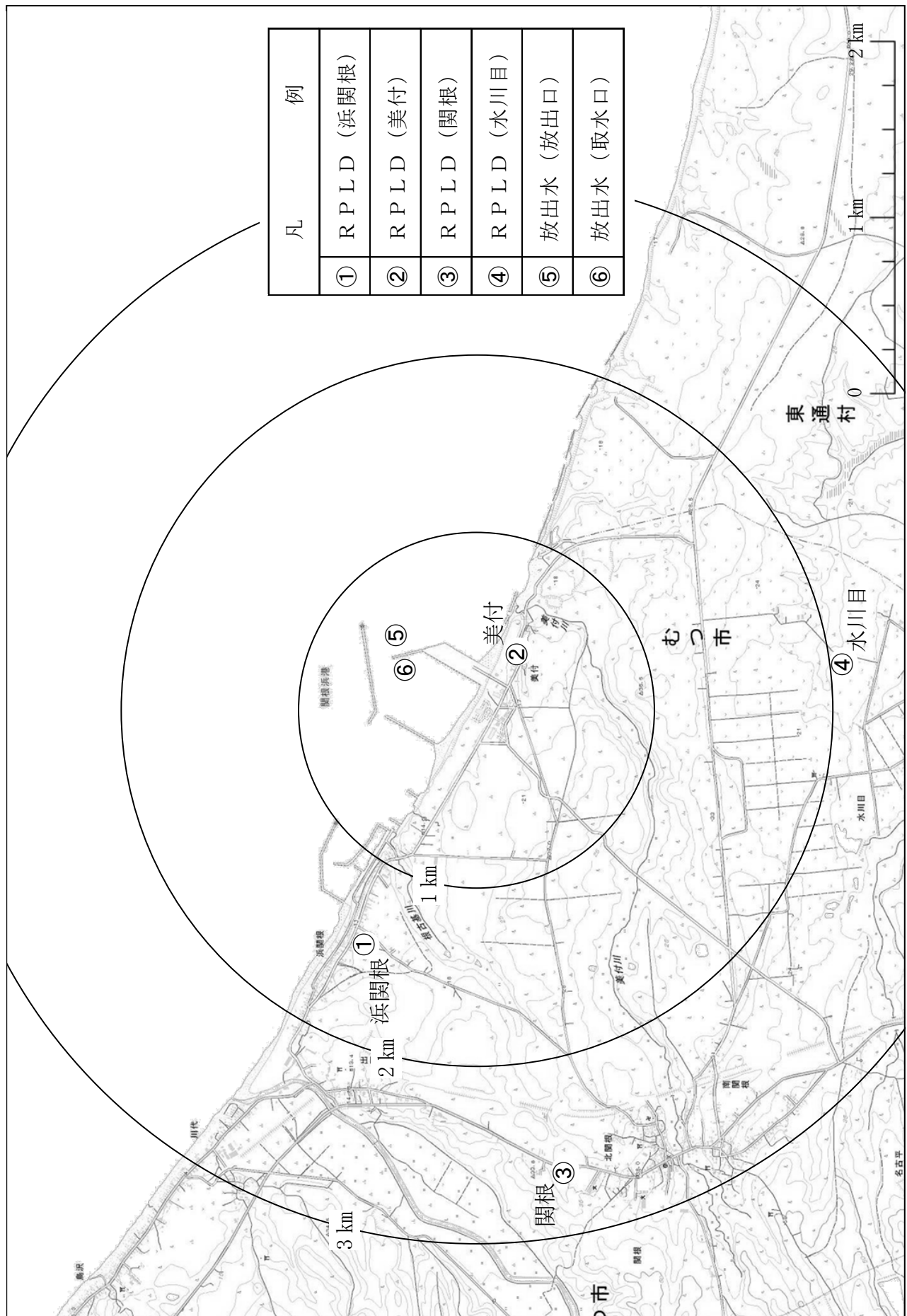
| 監視項目                                                                                                 |                | 地点                          | 頻度       | 時期    | 備考 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------------------|----------|-------|----|
| 固体廃棄物                                                                                                | 定期             | 国立研究開発<br>法人日本原子力<br>研究開発機構 | 年2回      | 8月、2月 |    |
|                                                                                                      | その他            | 青森研究開発<br>センター              | 作業に応じて随時 |       |    |
| 空間放射線                                                                                                | 積算線量<br>(RPLD) | 浜関根<br>美付<br>関根<br>水川目      | 年4回      | 四半期ごと |    |
| 環境試料の<br>核種分析<br>$\left[ \begin{array}{c} {}^{60}\text{Co} \\ {}^{137}\text{Cs} \end{array} \right]$ | 放出水            | 放出口                         | 放出の都度    |       |    |
|                                                                                                      |                | 取水口                         |          |       |    |

### ○むつ市実施分

| 監視項目  |     | 地点                          | 頻度       | 時期    | 備考 |
|-------|-----|-----------------------------|----------|-------|----|
| 固体廃棄物 | 定期  | 国立研究開発<br>法人日本原子力<br>研究開発機構 | 年2回      | 8月、2月 |    |
|       | その他 | 青森研究開発<br>センター              | 作業に応じて随時 |       |    |

## 2. 環境放射線等測定地点図

(出典：国土地理院)



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センターに  
係る放射能監視計画

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
青森研究開発センター

## 目 次

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1. 放 射 能 監 視 計 画 .....      | 1 |
| 2. 環境放射線測定及び環境試料採取の地点 ..... | 2 |

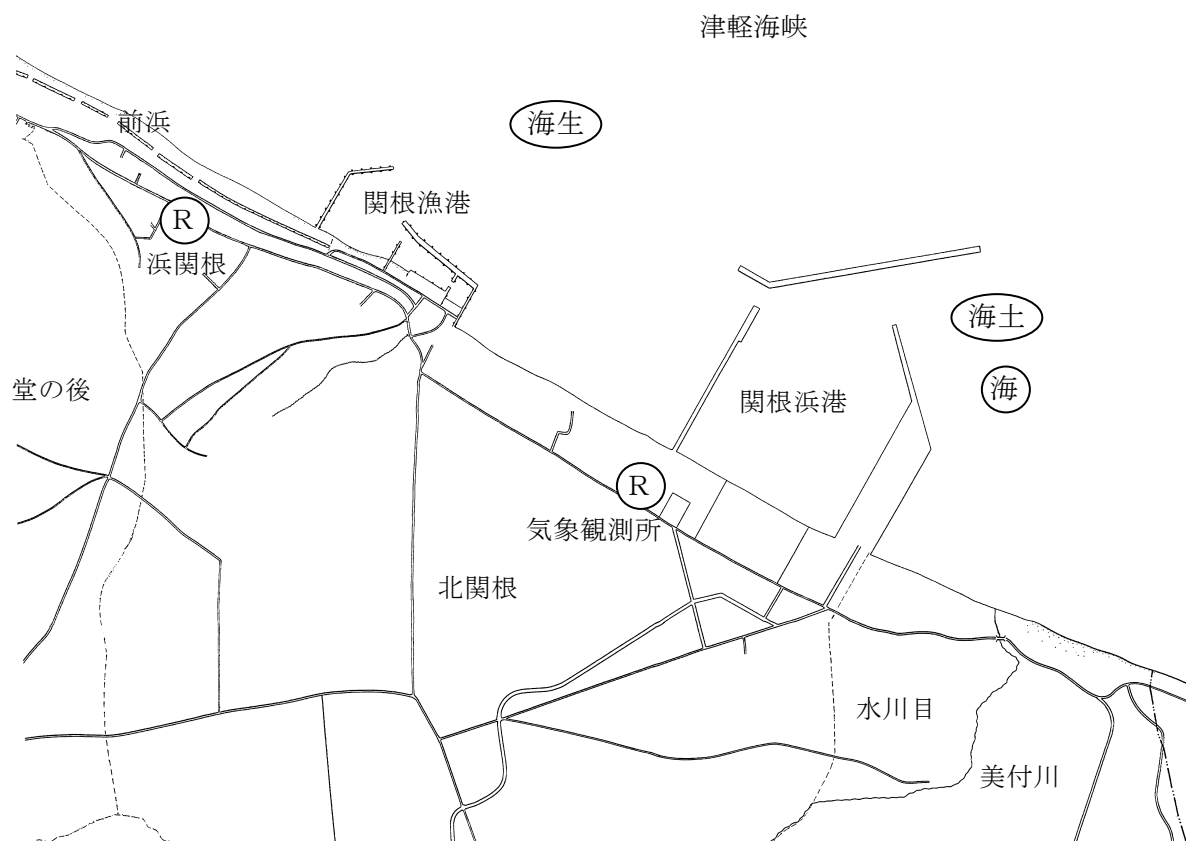
## 1. 放射能監視計画

放射能監視計画を表1に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

表 1 放射能監視計画

| 監視項目           | 地点             | 頻度  | 時期      | 備考                                   |
|----------------|----------------|-----|---------|--------------------------------------|
| 積算線量<br>(RPLD) | 気象観測所<br>浜 関 根 | 年4回 | 四半期毎    |                                      |
| 海 水            | 排水口付近          | 年1回 | 5 月     | $^{60}\text{Co}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ |
| 海 底 土          | 排水口付近          | 年1回 | 5 月     |                                      |
| コ ン ブ          | 関根漁港沖          | 年1回 | 8月(収穫期) |                                      |

## 2. 環境放射線測定及び環境試料採取の地点



|    |           |
|----|-----------|
| 海  | 海水        |
| 海生 | 海産生物(コンブ) |
| 海土 | 海底土       |
| R  | RPLD      |

## 原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

| 開催日時等                              | 議 題                                                                                                                                            | 備 考                                                           |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 (S49. 10. 24)<br>大湊ホテル (むつ市) | 1 原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について<br>①青森県実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について<br>②むつ市実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について<br>2 その他 | S49. 8. 26<br>出力上昇試験のため大湊港出港<br><br>S49. 9. 1<br>「むつ」放射線漏れ発生  |
| 第 2 回 (S50. 3. 28)<br>丸大 (青森市)     | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                  | S49. 10. 5<br>大湊港へ帰港                                          |
| 第 3 回 (S50. 9. 19)<br>丸大 (青森市)     | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                  |                                                               |
| 第 4 回 (S51. 4. 30)<br>丸大 (青森市)     | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                  |                                                               |
| 第 5 回 (S51. 9. 17)<br>アラスカ会館 (青森市) | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                  |                                                               |
| 第 6 回 (S52. 5. 20)<br>ホテル青森 (青森市)  | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 原子力船「むつ」の定係港出港時における監視計画について<br>4 その他                                                                 |                                                               |
| 第 7 回 (S53. 1. 19)<br>ホテル青森 (青森市)  | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                  |                                                               |
| 第 8 回 (S53. 9. 18)<br>ホテル青森 (青森市)  | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について<br>3 原子力船「むつ」の臨時航行検査時 (海上運転) における放射能監視計画について<br>4 原子力船「むつ」の出港時における放射能監視計画に基づく実施計画について<br>5 その他            | S53. 9. 29<br>海上試運転<br><br>S53. 10. 11～10. 16<br>大湊港から佐世保港へ回航 |

| 開催日時等                                        | 議 題                                                                                                                                                                                              | 備 考                                  |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 第 9 回 (S53. 12. 26)<br>ホテル青森 (青森市)           | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る臨時航行検査時 (海上運転) 及び<br>出港時並びに出航後の放射能監視結果について<br>3 その他                                                                                                                     |                                      |
| 第 1 0 回 (S57. 7. 29)<br>アラスカ会館 (青森市)         | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」定係港に係る放射線等監視結果について<br>3 昭和 5 7 年 9 月の原子力船「むつ」定係港入港想定時にお<br>ける監視計画について<br>4 上記入港後の原子力船「むつ」定係港停泊時の監視計画に<br>ついて<br>5 その他                                                      | S57. 9. 6～8. 31<br>佐世保港から大湊港<br>へ回航  |
| 第 1 1 回 (S57. 11. 30)<br>野辺地町中央公民館<br>(野辺地町) | 1 一般経過報告<br>2 原子力船「むつ」に係る放射線等監視結果について<br>3 その他                                                                                                                                                   |                                      |
| 昭和 5 8 年度<br>(持ち回り)                          | 1 原子力船「むつ」に係る監視結果について<br>2 関根浜地区環境放射能調査計画について                                                                                                                                                    |                                      |
| 昭和 5 9 年度<br>(持ち回り)                          | 1 原子力船「むつ」に係る監視結果について                                                                                                                                                                            |                                      |
| 昭和 6 0 年度<br>(持ち回り)                          | 1 原子力船「むつ」に係る監視結果について<br>2 船内保管放射性廃棄物の取扱いについて                                                                                                                                                    |                                      |
| 昭和 6 1 年<br>(持ち回り)                           | 1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について                                                                                                                                                                      |                                      |
| 第 1 2 回 (S63. 1. 12)<br>アスパム (青森市)           | 1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について<br>①定常時監視結果<br>②温態予備点検作業等に係る監視結果<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視計画 (案) について<br>3 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視計画<br>(案) について<br>4 原子力船「むつ」に係る新監視協定における放射能監視基<br>準 (案) について<br>5 その他 | S63. 1. 26～1. 27<br>大湊港から関根浜港<br>へ回航 |



| 開催日時等                           | 議 題                                                                             | 備 考                                          |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 第13回 (H元.2.27)<br>青森国際ホテル (青森市) | 1 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視結果<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>3 その他                   |                                              |
| 第14回 (H2.2.19)<br>青森国際ホテル (青森市) | 1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>3 その他                     | H2.3.29<br>出力上昇試験開始<br><br>H2.7.10<br>洋上試験開始 |
| 第15回 (H3.2.22)<br>青森国際ホテル (青森市) | 1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について<br>2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>3 液体廃棄物の放出に伴う放射能監視(案)について | H3.2.25<br>実験航海開始                            |
| 第16回 (H4.2.3)<br>アラスカ会館 (青森市)   | 1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>2 その他                                                   | H4.9.18<br>解役工事開始                            |
| 第17回 (H5.2.16)<br>アラスカ会館 (青森市)  | 1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について<br>3 その他                       | H5.5.28<br>燃料取出し作業開始                         |
| 第18回 (H5.11.5)<br>アラスカ会館 (青森市)  | 1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について<br>3 その他                       | H7.6.22<br>原子炉室一括撤去<br>解役工事終了                |
| 第19回 (H8.3.19<br>～3.29) 持ち回り    | 1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果<br>2 平成8年度以降の青森県及び日本原子力研究所の監視計画<br>3 その他                   |                                              |
| 第20回 (H9.10.28<br>～11.20) 持ち回り  | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 その他                                              | H9.11.7<br>「みらい」関根浜港入<br>港                   |
| 第21回 (H11.1.27<br>～2.8) 持ち回り    | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 その他                                              |                                              |
| 第22回 (H12.2.10<br>～2.24) 持ち回り   | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 その他                                              |                                              |

| 開催日時等                                 | 議 題                                                                                                        | 備 考                                            |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 第 2 3 回 (H13. 1. 26<br>～3. 16) 持ち回り   | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 その他                                                                         | H13. 6. 25～30<br>H13. 9. 3～7<br>H13. 11. 13～17 |
| 第 2 4 回 (H14. 2. 18<br>～3. 1) 持ち回り    | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 日本原子力研究所むつ事業所周辺地域に係る放射能監視<br>計画等の見直しについて<br>3 その他                           | 原子力船「むつ」使用<br>済燃料搬出                            |
| 第 2 5 回 (H15. 2. 21<br>～3. 18) ) 持ち回り | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 積算線量の測定方法について                                                               |                                                |
| 第 2 6 回 (H15. 10. 31<br>～11. 7) 持ち回り  | 1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果<br>2 積算線量の測定方法の変更について                                                            |                                                |
| 第 2 7 回 (H17. 1. 24)<br>県 庁           | 1 会長の選任について<br>2 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果                                                                   |                                                |
| 第 2 8 回 (H17. 10. 18)<br>県 庁          | 1 平成 1 6 年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射<br>能監視結果について<br>2 平成 1 7 年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射<br>能監視計画について                 |                                                |
| 第 2 9 回 (H18. 4. 24)<br>アラスカ (青森市)    | 1 平成 1 7 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係<br>る放射能監視結果について<br>2 平成 1 8 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係<br>る放射能監視計画について           |                                                |
| 第 3 0 回 (H19. 5. 17)<br>県 庁           | 1 平成 1 8 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係<br>る放射能監視結果について<br>2 平成 1 9 年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発セ<br>ンターむつ事務所に係る放射能監視計画について |                                                |
| 第 3 1 回 (H20. 5. 20)<br>県 庁           | 1 平成 1 9 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係<br>る放射能監視結果について<br>2 平成 2 0 年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発セ<br>ンターむつ事務所に係る放射能監視計画について |                                                |
| 第 3 2 回 (H21. 6. 5)<br>県 庁            | 1 平成 2 0 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係<br>る放射能監視結果について<br>2 日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務<br>所に係る放射能監視計画について           |                                                |

| 開催日時等                                  | 議 題                                                           | 備 考 |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----|
| 第 3 3 回 (H22. 6. 25)<br>ラ・プラス青い森 (青森市) | 1 平成 2 1 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について<br>2 その他           |     |
| 第 3 4 回 (H23. 7. 19)<br>ラ・プラス青い森 (青森市) | 1 平成 2 2 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について<br>2 その他           |     |
| 第 3 5 回 (H24. 6. 11)<br>アラスカ (青森市)     | 1 平成 2 3 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について<br>2 その他           |     |
| 第 3 6 回 (H25. 7. 23)<br>アラスカ (青森市)     | 1 平成 2 4 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について<br>2 その他           |     |
| 第 3 7 回 (H26. 7. 31)<br>アラスカ (青森市)     | 1 平成 2 5 年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について<br>2 その他           |     |
| 第 3 8 回 (H27. 7. 30)<br>アラスカ (青森市)     | 1 平成 2 6 年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果について<br>2 その他 |     |